

広報



第94号

平成30年  
11月発行

## アルツハイマー病根本治療薬開発への期待

介護老人保健施設なぎさ施設長 高橋 薫

今、日本では世界でも類をみないスピードで高齢化が進んでおり、これに伴い認知症、なかでもその過半数を占めるアルツハイマー病が増加を続け、患者家族のみならず社会全体にとって介護や経費の面で大きな負担となっています。

アルツハイマー病（以下ADと略）は今から100年以上前にドイツのAlois Alzheimerによって報告された疾患ですが、それから80年もの間この病気の原因は全く不明のままでした。1980年代に入りAD患者の脳にみられる老人斑の主成分がアミロイドβ（以Aβと略）である事がわかり、更に21番染色体のトリソミー（通常は2本である21番染色体が3本ある）が原因で早期から認知能低下を示す先天性疾患のダウン症での研究や遺伝性AD家系での研究から、21番染色体上にAβの元となるアミロイド前駆体蛋白（APP）をコードする遺伝子があり、この遺伝子やAPPからAβを切り出す酵素の遺伝子に異常があるとAβが多量に産生されたり通常より脳に溜まり易いAβが

つくられ認知能低下の原因となる事が解って来ました。認知能低下の最初の発端は脳内にAβが沈着する事であるという事でアミロイドカスケード説と呼ばれて世界で広く支持されています。

ところで現在ADに対する薬として広く使われているドネペジル、ガランタミン、メマンチンなどの薬は神経細胞と神経細胞が接続する部位（シナプス）で作用するもので、ADの真の原因であるAβの沈着には影響を与えません、従ってこれらの薬では投与早期には一定の効果がみられますが長期に亘って認知能の低下を食い止める事は困難です。アミロイドカスケード説に従えばAβの産生を抑制する薬、Aβの凝集を抑制する薬、Aβの分解排泄を促進する薬などがADの根本治療薬という事になります。この10年程の間、世界各国でその様な認知症の根本治療薬の開発が精力的に試みられて来ましたがまだ市販薬として認可されるに至っている薬はありません。現代の医学がこの問題を解決し認知症の根本治療薬が登場する日を期待したいものです。



## 私と「ラジオ歌謡」

全国ラジオ歌謡音楽祭実行委員会  
副委員長 佐藤 八重子

前号（広報誌はまなす93号）に引き続いての寄稿となります。

平成29年9月24日、「第11回全国ラジオ歌謡音楽祭」を秋田市文化会館大ホールにおいて開催いたしました。ご来場者1,000名をお迎えして、「秋田から復興したNHKラジオ歌謡」の祭典にふさわしい盛り上がりの中、開幕となりました。

今回の音楽祭の演奏は、指揮者工藤雄一実行委員長、日本ラジオ歌謡研究会会長、秋田シンフォニック・オーケストラ43名編成、エレクトーン奏者、全国的に知名度の高い長谷川幹人氏、合唱団として全国ラジオ歌謡連盟、東京、千葉、埼玉に加え、秋田県ラジオ歌謡連盟、秋田、保戸野、横手、男鹿、土崎、二ツ井の会員など100名の熱唱でした。

毎回、会場と舞台が一体となり、70代、80代の方々は、この時とばかり大きな声を出され、懐かしさでいっぱいになり、そここで涙ぐまれていました。

また、アンケートに寄せられたご意見には、「自分

達が元気に頑張っている限り、毎年続けて欲しい」と来場者の要望が数多くありました。私達はこのような言葉に励まされ、また次回も頑張ろうと思っています。

全国ラジオ歌謡音楽祭の開催目的は、「ラジオ歌謡」の名曲の数々を、後世に歌い継いでいく事であり、また、会場の皆さんが感動しながら、歌い楽しんで頂く事でもあります。

平成25年、全国ラジオ歌謡音楽祭実行委員会から、「ラジオ歌謡」を施設の入居者が、懐かしく思われると感じ、一時楽しんで頂きたいとの思いで、秋田市内60ヶ所の介護施設にご案内を差し上げたことがありました。

私達の介護に対しての、理解不足からか、どちらの施設からもご要望の返事はいただけませんでした。

今後は、「ラジオ歌謡」を楽しんで頂きたい機会がありましたらご要望にお答えして参りますので、ぜひ声をかけていただければと思っております。

最後に、お礼の言葉を述べさせて頂きたくお許しください。

実は私の姉（86歳）が、現在介護施設にお世話になっています。常に大変ご親切に介護の手を差し延べて下さり、感謝の念で一杯です。当初、私が頑張って姉の世話をと意気込んでみたものの、日増しに変化していく姿を見て、この状態では専門家に委ね私も一緒に勉強させて頂きたいとの思いをお願い致しました。スタッフの皆様が親身になって姉に寄り添って下さり、私はその姿に感動し、この場を借りて心から感謝致しております。いつもありがとうございます。



# 土崎病院 Menu紹介

栄養科では、患者さんの病状や栄養状態を改善する一助になれるような食事が提供できるように日々、献立作成や調理を行なっています。入院中の食事は治療の一環ではありませんが、入院中も食事が楽しみの一つとって頂けるように行事食や選択メニューを実施しております。



## ▼松花堂弁当



行事に合わせ、花見弁当、紫陽花弁当、敬老の日弁当、紅葉弁当、成人の日弁当、建国記念の日弁当、年6回の松花堂弁当を提供しています。

## ▼握り寿司

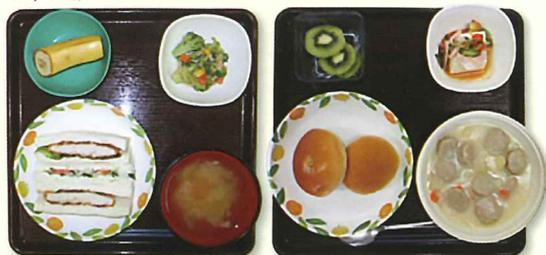


月1回、握り寿司を提供しています。粥食を召し上がっている患者さんには、粥の上に鶏そばろ、桜でんぶ、炒り卵をのせた粥ちらしを提供しています。

## ▼粥ちらし



## ▼パン



月2回パンメニューを提供しています。カツサンドやサンドイッチ、三色ドッグ、ロールパン等々。給食業務の委託先である秋田キャッスルホテルで製造されたパンを使用しています。

パンメニューは当初月1回の提供でしたが、嗜好調査の結果パンメニューの要望が多かった為、現在は月2回パンメニューの提供を行っています。

## ▼季節のメニュー



土崎港曳山祭りには港祭り御膳を提供しています。かすべ煮、赤飯、天ぷら、寒天、枝豆等々。土崎港曳山祭りは「かすべ祭り」とも呼ばれ、かすべ煮は土崎の郷土料理だそうです。

冬には旬の食材のハタハタを提供しています。食材で季節や行事を感じて頂けるように、これからも旬の食材を使用した食事を提供できるように努めていきたいと思ひます。



当院で提供している一般食のメニューの一部をご紹介します。

土崎病院 栄養科 主任管理栄養士  
山品 素子





# 「意思決定を支えるナースの役割」 の研修に参加して

3病棟 看護師長 伊藤 千晶

秋田県看護協会秋田臨海地区支部開催の上記テーマとした倫理研修会に参加してきました。

講師は、北海道医療大学名誉教授の石垣靖子氏で、自身の経験から看護を解く内容でこれからの看護観を考える良い機会となりました。

テーマとなっている意思決定とは、生きていく中での様々な選択です。どうしたいのか、どうすればよいのかは環境により変化するため、倫理の中でも中心的課題となっているそうです。

医療の現場での意思決定とは治療方針を考える場面で多いと思います。日本の場合インフォームド・コンセントは説明と同意とされ、医療者側が主体となっています。

しかし、本来の意思決定は患者さんが主体となるもので、誠意と対話のプロセスから患者さんの事情に合わせ、その人が生きることができるよう支援することが必要です。

患者さんの理解力に合わせてコミュニケーションを図ることで、一緒に考え悩み患者さんがどうしたいのかを導き、多職種と連携し患者さんの為になる最善なことを決定できる援助が看護師の重要な役割であると学びました。

医療の高度化により患者さんも高齢である現

代は、患者さんの意思を確認できず、御家族が意思決定をすることもあります。将来、自分の判断能力が失われた時に自分に対して行われる医療行為について、あらかじめ意向を書面にするAD（事前指示）とその時の価値観や死生観、人生の目的など話し合いや対話のプロセスを重視するACP（アドバンス・ケア・プロセス）について話されました。ADは今考えられる事柄を重視して決めるためその考えに捕らわれてしましますが、ACPは意思を点ではなく線（面）として捉えることで医療者と治療計画を一緒に作り、一人の人間として最後まで生き抜けるよう尊厳を大切にすることができます。

患者さん・御家族の思いを、コミュニケーションを通して知り、最善の意思決定となる支援をしていきたいと思いました。

看護師は「患者の日常」との言葉から、治療と重なる部分から生きていることを感じられるよう、笑顔と思いやりの心を持ち患者さんに寄り添える看護師でありたいと思います。

**医療法人 運忠会**  
**土崎病院** 病院長 小野 栄二  
TEL : (018)-845-4121

内科・外科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	△
午後 14:00 ~ 17:00	●	●	●	●	●	△	△

外科の診察は午後予約制です。また水曜午後は休診です。

心療内科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	△	●	●	●	●	△	△
午後 14:00 ~ 17:00	●	△	△	△	△	△	△

(12月以降は水曜午前・木曜午前の週2回の診察となります)

泌尿器科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	△	△	●	●	△	△	△

皮膚科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	△	●	△	△	△	△	△

歯科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	△
午後 14:00 ~ 18:00	●	●	●	△	●	△	△

禁煙外来	月	火	水	木	金	土	日
午後 15:30 ~ 16:30	△	△	△	●	●	△	△

禁煙外来は予約制です。018-845-4121 までお問い合わせください。

## ～胸部レントゲン撮影等の一般撮影機器を新しくしました～

### エックス線平面検出器 「FUJIFILM DR CALNEO」システム導入について

土崎病院 診療放射線技師 佐藤 靖

土崎病院では、これまで採用していた従来のイメージングプレートを使用したCRシステムの更新に伴い、2018年8月より最新型のDRシステムである富士フイルム社製のX線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ「FUJIFILM DR CALNEO」システムを導入いたしました。

CR、DRシステムとは簡単に言うと、胸部レントゲン撮影等のレントゲン撮影に使用するための装置で、エックス線を画像化するための画像入力機器のことを言います。

CRシステムではエックス線を照射したイメージングプレートと呼ばれる装置を、エックス線を画像情報に変換するための読取装置にとおすことで画像として表示していました。

こちらは複数の工程がかかるため画像情報が劣化し画質が低下する可能性があり、撮影してから画像の表示までに数分かかり検査時間が長くなっていました。

今回導入したDRシステムではイメージングプレートの代わりにエックス線平面検出器という装置を使用します(下写真)。この装置は装置内にエックス線を検出し、画像情報に変換するための機能が一体となっているため、撮影後に数秒でエックス線を画像として表示することができ、検査時間の大幅な

短縮が可能になりました。装置自体のエックス線への感度も高く、撮影後すぐに同一装置内でエックス線を画像情報へ変換するため、画像情報の劣化もなく、CRシステムよりエックス線による被ばく線量を大幅に低減し、高画質な画像が提供できます。

また、このDRシステムには画質向上のために様々な画像処理技術が導入されています。

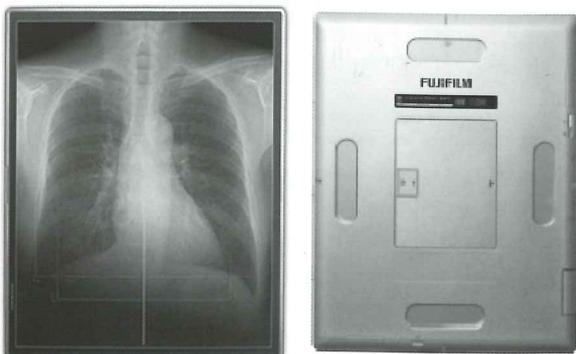
画質を低下させ、散乱線を補正するための画像処理「Virtual Grid」や、現在主流になっている医療用モニターでの診断に適切な画像を提供するための「Dynamic Visualization」、画質を低下させる不必要なノイズ成分を自動抽出・分離することで画質を改善する「FNCノイズ抑制処理」などの撮影画像を適切な状態に表現する画像処理技術によって高画質な画像を得ることができます。

これらの技術を適用することで従来のシステムより胸部分野の撮影では胸部、肺野内をより鮮明に、腹部分野の撮影では腸管、腸管ガスをより明瞭に、整形分野の撮影では骨、関節をより細部まで、高画質な画像を提供できるようになりました。

車椅子や寝台等の撮影台に立って撮影することが困難な患者様にも同一のシステムを使用し撮影することが可能で、撮影時に負担の少ない設計になっております。

まだ土崎地区では普及していないこの最新式のDRシステムで、私たち放射線科では、患者さんの被ばく線量の低減、診断に最適な画像を、個人個人に合わせて求められる最適な撮影条件で撮影し、提供できるよう日々撮影業務を研鑽しております。

質問などありましたら気軽にお声をかけてください。



【14×17インチモデル】



## なぎさ祭りを 終えて

実行委員長 小林 由宇



9月2日(日)第22回なぎさ祭りを開催いたしました。今年のなぎさ祭りのテーマは「笑顔の花」なぎさの利用者やご家族、また地域の皆様が笑顔になるよう願いを込め、このテーマに決定いたしました。

当日は天気にも恵まれ無事、屋外で開催することができました。特設ステージでは、あおぞら保育園の園児によるお遊戯や、NTT竿燈会のお囃子にのせた迫力ある竿燈の妙技、みなとWAKAHATOジュニアのパワーあふれるヤートセ、赤十字芸能奉仕団による心が熱くなる唄や踊りの披露、そして特設会場のトリを飾ったのは、当施設の高橋薫施設長と職員による凸凹バンドの演奏でした。会場の皆様は、参加団体の演技・演奏に見とれ、喜び、大いに盛り上がりおりました。

なぎさ祭り催しの最後は、恒例の大抽選会です。抽選番号が読み上げられるたびに会場から歓声があがるほどでした。

特設会場以外では、模擬店でご協力いただいている秋田キャッスルホテルから、ホテルパンのプレゼントをはじめ、男鹿塩焼きそば・はちみつラテプリンなどのメニューが提供されました。利用者と家族が好きな食券を購入し、楽しそうに食事をしている利用者の笑顔はとても新鮮なもので、感動を覚えました。

バザー部門では、たくさんのお客様にお越しいただきました。バザー品が多数集まったこともあり、大繁盛いたしました。

今年、「笑顔の花」をテーマに開催したなぎさ祭りは、会場のいたるところで笑顔が溢れる祭りになったのではないかと感じております。

最後に、なぎさ祭りを開催するにあたり、お力添えをいただいた実行委員をはじめ、会場を盛り上げてくださった芸能披露諸団体の皆様、多数来場していただいた利用者と家族の皆様、地域の皆様に感謝とお礼を申し上げます。



## 医療法人 運忠会野球部 活動報告

土崎病院2病棟 上村 雄太

当運忠会野球部は、土崎病院、なぎさ、しおさいの男性職員を中心に5月～10月まで、月3回程、勤務終了後に県立こまちスタジアムに併設している向浜運動場にて練習や試合に励んでいます。

部員は初心者から硬式野球経験者と様々で、1人1人がそれぞれの目標に向かい楽しく活動しています。

今年は3月に行われたアダムスカップソフトボール大会でベスト4の成績を収め、8月の病院対抗野球地区大会は雨天中止となりましたが、幹事病院としてのアドバンテージで全県大会に出場する事ができました。

9月末に河辺和田球場で行われた秋田県病院対抗野球全県大会では、序盤から運忠会打線が振るわず、最終回にノーアウト満塁と見せ場は作りましたが、相手の好守備もあり、平鹿総合病院に1-5のスコアで初戦敗退となりました。

11月には、球納めとしての試合を行い今年度の活動は終了します。今年の悔しい思いを胸に、また来年、予選地区を実力で勝ち上がり、全県大会でのリベンジを目標に取り組んで行こうと思っています。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
平鹿総合	0	1	1	0	0	3	0			
土崎	0	0	0	0	0	0	1			



## 編集後記

秋も深まり、めっきり日脚も短くなってまいりました。これからの厳しい季節に備え、冬支度に追われている事と思います。ただ、せつかくある四季、過ごすのであれば楽しみも見出しているかがでしょうか。雪景色・温泉・ウインタースポーツ、どれも雪国秋田ならではの醍醐味です。これからの季節を堪能するために、感染症等の予防にもしっかり努めていきましょう。

(高橋)